R7せんだい若手勉強会通信

担当
外崎（4年目）
三原（2年目）
青木（1年目）

Vol. 5

橋台工の一連の施工プロセスを学習！

◆ 橋台が出来上がるまでの過程を学習！

➢宮城県大崎市鳴子温泉地内にて行われている道路改良工事の現場を見学しました。
当該箇所では、線形改良事業に伴い橋梁下部工が施工中であり、本見学会では複数回に渡って橋台が作られる一連のプロセスを学習しました。

◎橋台とは・・・
上部工（橋桁）を支える土台となる構造物。

➢見学会の各プロセス（見学のポイント）

1.床掘完了時の段階確認（支持地盤の確認）

●設計時の想定と実際の支持層が設計どおりか

2. 鉄筋・型枠組立

●鉄筋の位置や間隔は設計どおりであるか
●型枠は水平・垂直か、十分な強度が保たれているか

3. コンクリート打設

●計画した順番に打設されているか
●十分な締固めがされているか

4. 表層目視調査

●打設されたコンクリートの表面品質が確保されているか

以上の点に着目して見学！！

▲支持地盤の確認

▲表層目視調査

◆ 参加した若手職員の声

▲鉄筋・型枠組立

コンクリート打設時に鉄筋がズレないような強固な組み立て、かぶり厚さの確保、型枠が水平・垂直かなど、完成後の構造物を見据えて多くの点を確認する必要があることを学びました。

コンクリート打設では、練り混ぜ開始から運搬、打設完了まで綿密なタイムスケジュールが組まれていました。打ち込み時や締固め時といったすべての工程で多くの確認事項があることを学びました。

▲コンクリート打設

～ひとこと～

今回の見学会を通して、構造物が完成するまでの施工プロセスを実際の現場で学び、工事の流れを具体的に理解することができました。今後、その知識を発注や積算などの業務に活かしていきます。今後もスポット見学だけでなく、段階的な見学会を実施したいと思います。